

家禽解説

特 71

973



301516-001-7

特71-973

家禽解説

森川 鍵蔵 著

M4 1. 2

CCD-0001

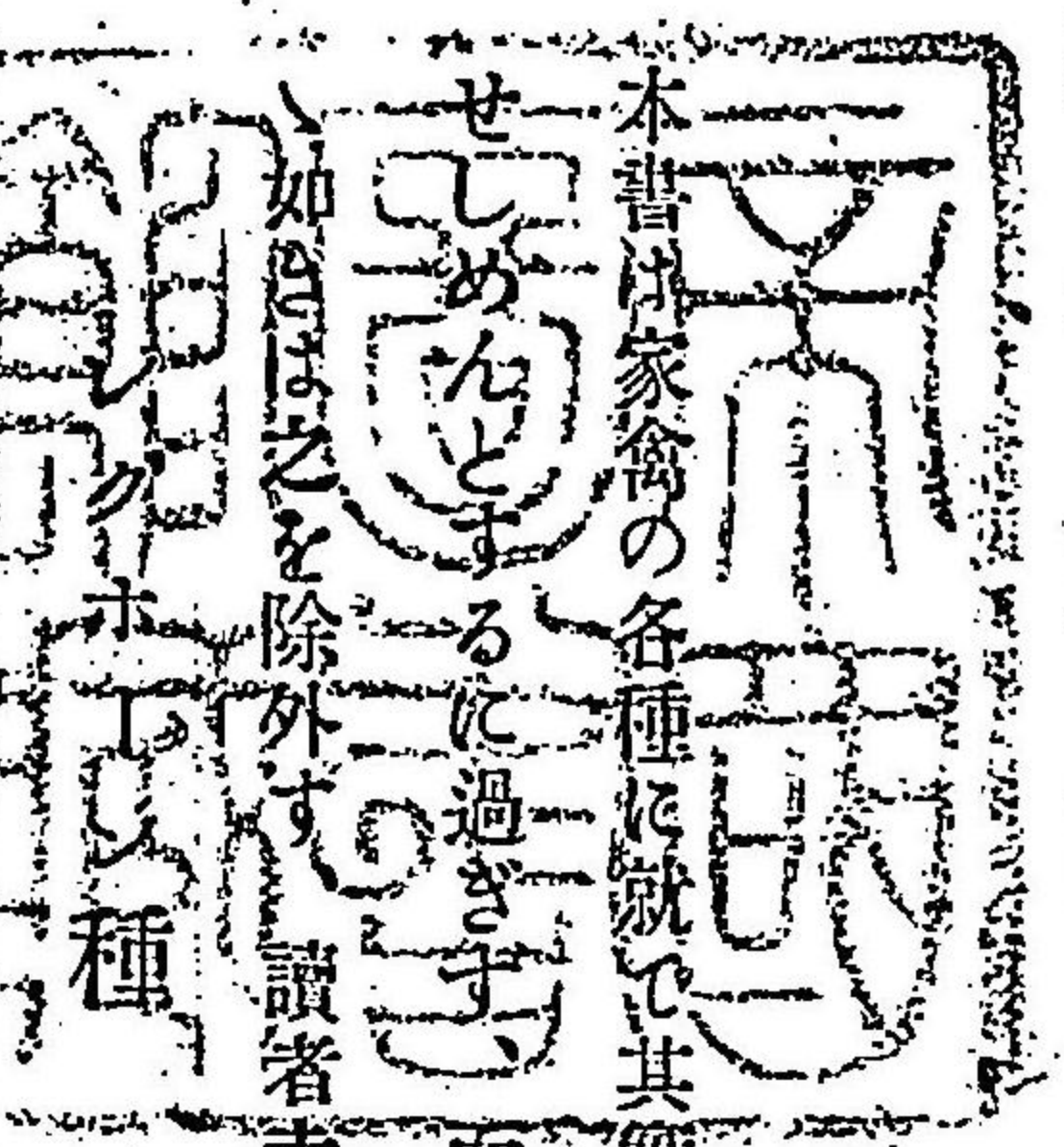
|||||

特71
973

家禽解説

特71
973

大久保種禽場編纂



本書は家禽の各種に就て其實質と外形とを概説し初心の者をして種禽選擇の資に供せしめんとするに過ぎず、而して人の皆知る所のもの及び未だ本邦に入らざるもの如きは之を除外す、讀者幸に其節略を尤むる勿れ

本種は鷄巢せず、採卵鶏中の最良なるものとす、其最多産なるものに至りては一年間二百四五十顆を産し、卵は白色にして一顆の重量十七八匁に達す、體質は甚だ強壯にして羽力強く且つ資性敏活なるが故に之を放飼するも能く害敵の襲撃を免れ、亦能く柵飼に適す、其雛は發育頗る良好にして強健、孵化後五ヶ月内外にして産卵を始む、本種は單冠と齋微冠との二種に分る、其單冠なるものは凡五箇乃至七箇の鋸齒狀に分





単冠白色レグホーン

裂し、其大さは體軀に比して適度なるをよしとす、其蓄薇冠なるものは上面に許多の疣狀物あり前部廣く後部に至るに従て狭く其端尖りて穗狀をなし過大ならざるを可とす

本種は雄七百匁、雌五百匁前後にして眼は清涼に肉髯は長く、耳朶は薄くして白色なり、

頸は長く夥多の頸羽を有し、背は尾に向て微に回斜し篋羽は長く兩側に垂れ、其胸は圓く、其尾は長く適度に挑立し謠羽は能く彎曲し覆尾羽夥多なり、要するに本種は俊秀の風采を有するものとす

白色レグホーン 單冠 蓄薇冠

此種は羽毛純白色にして嘴及び脛趾は黄色なり

單冠白色種の最近輸入に係る改良種にありては其體頗る大にして雄九百匁雌七百匁に

達するものあり、其卵も亦た從て大なり

褐色レグホーン 單冠 蓄薇冠

此種の雄は頭及び背は暗赤栗色、頸羽及鞍羽は暗赤栗色にして各羽の中央に黒條あり、翼は褐色にして黒色の横斑を顯はし、胸體軀及び尾は黒色なり、其雌は頭及背は暗褐色、頸羽は暗褐色にして各羽の中央に黒條あり黄金褐色の覆輪を有す、翼は褐色、胸は雌赤色にして體軀は稍淡なり、尾は暗黒色、覆尾羽は黄金褐色にして淡褐色の覆輪あり、其嘴は黄色にして根部に暗色線條あり、脛趾は黄色なるべし

黒色レグホーン 單冠 蓄薇冠

此種は羽毛黒色にして嘴は暗角色若くは帶黄黒色、脛趾は暗石盤色若くは帶黄黒色なり

バン色レグホーン 單冠 蓄薇冠

此種は全身の羽毛バン色(帶紅黄色)なるを可とするも多少の黒色を交ゆるを常とす、

嘴及脛趾は黄色なり

薔薇冠ハフ色種は米國より輸入せる系統は其跡を絶ち今日世上に繁殖するものは大久保種禽場主が作出せる新系統にして産卵の多きを以て稱せらる

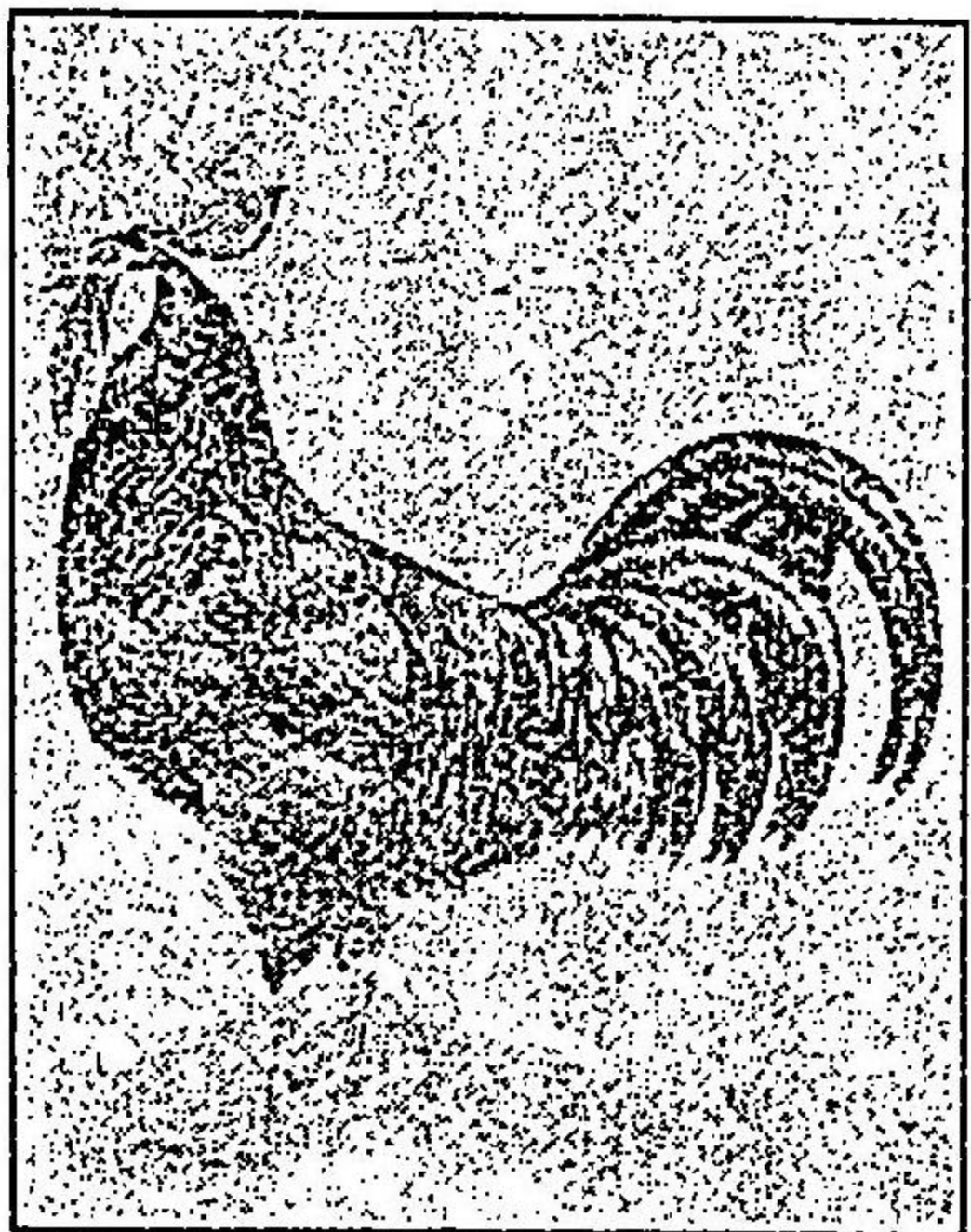
銀色ダックキング(鴨羽)レグホーン 單冠

此種の雄は頭頸及背は銀白色、翼は白色にして黒色の横斑を顯はし、餘は總て黒色なり、其雌は頭は銀白色、頸羽は銀白色にして各羽に黒條あり、胸は雌赤色にして體軀は灰色を含み、餘は總て石盤灰色なり、嘴及脛趾は黄色とす

此種は體形稍小なるも質強健にして能く寒氣に堪へ産卵多しと稱せらる

ミノルカ種

本種は大卵多産の特質を有し蟄巢せず、一年間能く百八十顆内外を産す、卵は白色にして十七八乃至二十とす、體質強健にして柵飼放飼共に適せり、其性喧噪ならず、雛は孵化後六ヶ月にして産卵を始む



黒色ミノルカ

本種の體形はレグホーン種に似て稍太く、雄九百隻雌七百隻内外の體量を有す、單冠なるものは大にして六七齒なるを常とす、耳朶は大にして純白色、肉髯も亦た長し、白色種及び薔薇冠黒色種は體形稍小なり

黒色ミノルカ 單冠 薔薇冠

此種は羽毛光澤ある黒色にして嘴は黒色若くは暗角色、脛趾は暗石盤色若くは黒色なり

薔薇冠黒色種は未だ輸入せられたるものあるを聞かず、大久保種禽場主が作出したる一新系統あるに過ぎず

白色ミノルカ 單冠

此種は羽毛白色にして嘴及脛趾は帯紅白色なり

アンダリユシャン種

本種は大卵を以て名あり、一年間の産卵数は百八十顆内外にして卵は十七八枚より二十枚に達し其殻皮は白色なり、一般に於てミノルカ種に等しく、性質稍敏捷にして蟄巢せず

本種はミノルカ種に近似し外觀稍壯なり、冠は單片にして六七齒に分裂し大き適度、耳朶は白色なり、其羽毛は淡石盤藍色にして各羽に濃石盤藍色の覆輪を有し、雄の頭頸背及び覆翼羽諸羽并に覆尾羽は濃石盤藍色にして殆んど黒色に近きものを可とす、嘴及脛趾は石盤藍色なり

本種は改良の日遠きにも係はらず今尙ほ時に羽毛の黒色なるものと灰白色なるものを出し未だ其固定を見ざるは他に比類なき特徴と稱すべし

白面黒色スバニッシ種

本種は地中海沿岸各種の祖先と稱せらる、一般に於て黒色ミノルカ種に髣髴たり、其

耳朶の絶大にして顔面と共に白色なるは本種の特徴となす、而して體質は稍強健ならず、寒濕に感じ易く、雛も亦た虚弱なるを免かれず

アンコーナ種

本種は一般に於てレグホーン種に等しく體形小なり、其冠は單片にして羽色は黑白混淆、嘴は暗角色、脛趾は白色にして鉛黒色の汚點あり

コーチン種

本種は體質強壯にして性温順なり、需肉を主とするも亦た頗る産卵力に富み、一年間百三四十顆を得るに難からず、卵は十五枚乃至十七八枚にして赤褐色を帯ぶ、羽力弱く柵飼に適す、雛は孵化後七八ヶ月にして産卵を始む、其雌は孵化育雛に従事せしむべし

本種は體量雄一貫三四百枚雌一貫枚に達す、頭は小にして嘴は短く、冠は單片にして大ならず、肉髯は稍短く、耳朶は大にして鮮紅色なり、頸は短く、背は廣く、胸及體

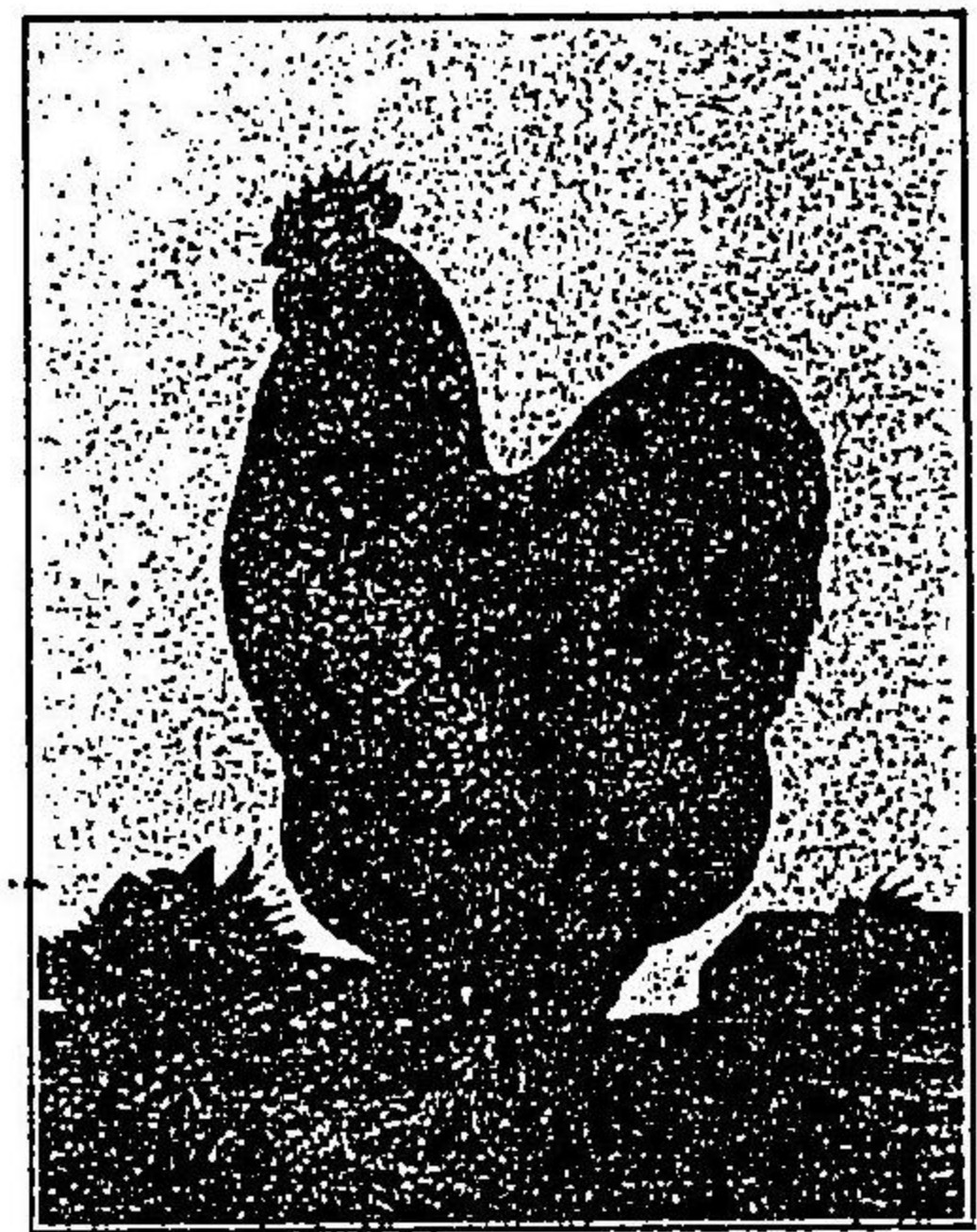
軀は潤大にして充實す、尾は短く軟く覆尾羽夥多にして豊實す、脛は短く其外側より外趾中趾に至るまで夥多の羽毛を着く、一般に軟羽充分豊富なるは本種の特質となす

バフ色コーチン

此種は羽毛バフ色(帯紅黄色)にして全身一様なるを貴重す、嘴及脛趾は黄色なり、産卵力に富みコーチン種中の優等なるものとす

パートリツヂコーチン

此種の雄は頭は橙紅色、背及肩は暗赤褐色、



ンチ 1. コ 色 フ バ

翼は赤栗色にして黒色の横斑あり、胸體驕尾及脛趾の羽毛は黒色なり、其雌は頭は濃褐色、頸羽は橙赤色にして各羽に黒條あり、餘は淡褐色にして暗褐色の鷓鴣斑あり、嘴及脛趾は黄色若くは角色なり

白色コーチン

此種は羽毛白色にして嘴及脛趾は黄色なり

黒色コーチン

此種は羽毛黒色にして嘴及脛趾は黒色若くは帶黄黒色なり

ブラマ種

本種は需肉を主とするも亦た産卵力に富み一年間能く百五十顆を産す、卵殻は褐色にして重量十七匁を有す、性質柔順、體質強健



マ ラ ブ 色 暗

にして産卵を始め、其雌は母鶏として孵化育雛に適す、其肉味に於ては淡色種は暗色種に勝り、産卵力に於ては暗色種は淡色種に勝る

本種は體量雄一貫三四百匁を有し雌一貫匁を

超ゆ、頭は稍潤く額部突出し、冠は低く三箇の單冠狀をなし名けて三枚冠と稱す、耳

朶は稍大にして鮮紅、頸は短く夥多の頸羽を被り、背は潤く肩部扁平なり、鞍部廣く鞍羽能く發達す、尾は短くして能く開張し、頸は稍短く其外側と外趾中趾は夥多の羽毛を着け、其體度悠然たり

淡色ブラマ

此種は頸羽の下部各羽に黒色縦斑あり、尾は黒色、他は總て表面白色なり、嘴は黄色にして下部に暗色の條線あり、脛趾は黄色なり

暗色ブラマ

此種の雄は頭及背は銀白色、頸羽及鞍羽は白色にして各羽に黒條あり、翼は白色にして黒色の横斑を顯はす、胸體軀及尾は黒色、頸羽は黒色にして多少の白色を混す、其雌は頭は銀白色、頸羽は黒色にして白縁あり、餘は灰色にして各羽に暗灰色の鷓鴣斑あり、嘴は暗角色、脛趾は橙黄色なり

ランシャン種

本種は効用に於てはコーチン種及ブラマ種と大差なく性質稍活潑なり、而して産卵力に於ては前二種に勝るものゝ如し

本種は體量雄一貫二百匁雌八百匁内外にして頭上に適度の單冠を戴き、耳朶は能く發達して鮮紅、頸は稍長く頸羽夥多なり、背は稍短く尾に向て隆起し尾は長大にして挑立す、胸は長くして充實し、體軀は前部に於て深厚なり、頸は長く其外側と外趾に羽毛を着く

黒色ランシャン

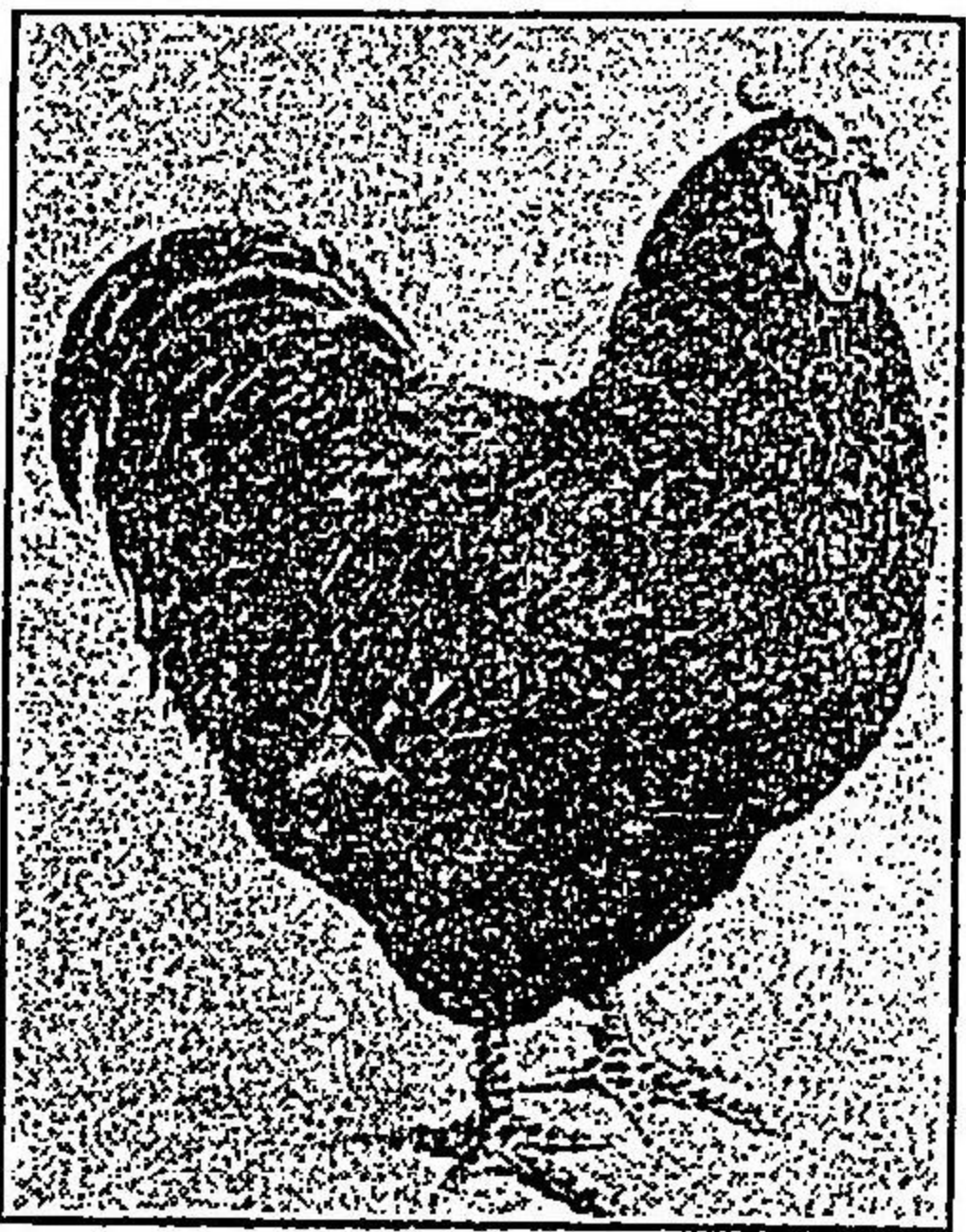
此種は羽毛黒色にして光輝に富み、嘴は角色、脛趾は黒色にして趾間と蹠とは帯紅白色なり

白色ランシャン

此種は羽毛白色にして嘴及脛趾も亦白色なり

オーピントン種

本種は體質強壯にして能く寒暑に堪へ産卵豊多にして肉味佳良なり、卵は一顆十七枚内外にして褐色を呈し、最多産のものは一年間能く二百顆を産す、性質柔順にして能く人に馴れ、柵飼放飼共に適す、雛は強健にして發育迅速、孵化後五ヶ月にして産卵を始む、其雌は亦た孵化育雛に従事せしむべし



黒色オリーブント

本種は黒色種を以て最優となす、バフ色種は之に亞ぐ、他の三種は遜色あり、黒色種にありては體量雄一貫五百枚雌一貫枚に達し、完全なる體形を有し、嚴冬を通じて連續産卵し、雛の發育迅速にして體質最強壯、外觀優秀なるの特長あり、バフ色種は體量雄一貫二百枚雌八百枚内外にして一般に於て黒色種に譲るものあり、他の三種は未だ精細に實質を知るに由なしと雖ども外觀に於て前二種に及ばざるものあり

本種は各種を通じて單冠と齶微冠とに分るゝも普通は單冠にして大ならず五齒乃至七齒に分裂し、肉髯は適度にして耳朶は鮮紅色なり、頸は能く彎曲し夥多の頸羽は肩に懸垂し、背は短く肩部廣く軟羽は充分なり、胸は潤大にして充實し、體軀は能く發達し軟羽豐實す、尾は能く開張し大にして長からず、脛は稍短く太し

黒色オリーブント

此種は羽毛黒色にして鑛物性光輝に富み、嘴及脛趾は黒色にして脛の鱗片間及趾間并に蹠は帯紅白色なり

バフ色オリーブント

此種は羽毛バフ色(帯紅黄色)にして嘴は白色若くは角色、脛趾は白色なり

白色オリーブント

此種は羽毛より嘴及脛趾に至るまで白色なり

ジュビリーオリーブント

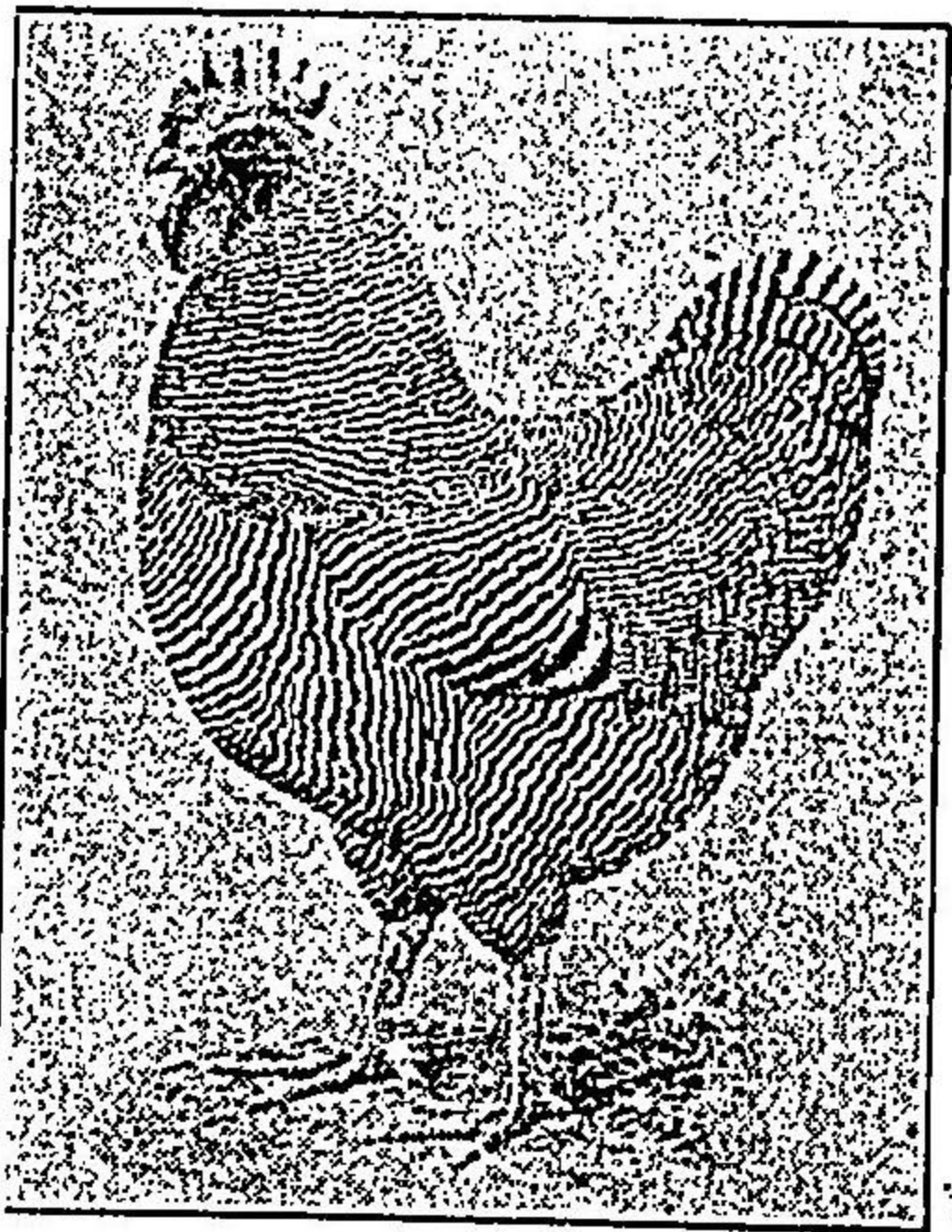
此種の羽毛は赤褐色黒色白色の三色を交錯し、嘴は白色若くは角色、脛趾は白色なり

スバングルドオーピントン

此種の羽毛は黒色爛斑にして嘴は帯黒白色、脛趾は白色にして黒點あり

プリマスロック種

本種は採卵と需肉との兩途を兼ねる者なり、體質強健にして寒暑に堪へ、卵は褐色に



横斑マリブスロック

して十六七枚を有し、最多産なるものは一年間能く百八十顆を産し、肉味亦佳良なり、性質温順にして柵飼放飼共に適す、雛は孵化後六七ヶ月にして産卵を始む、其雌は母雛として孵化育雛に適す、其バフ色種は最も産卵力に富めり

本種は體量雄一貫々雌八百々内外を有す、冠は單冠にして大ならず五齒乃至七齒に分

裂し、肉髯は圓く耳朶は鮮紅色なり、頸は短く夥多の頸羽を被り、背は廣表度に適ひ尾に向て凹斜し、鞍羽長く且多し、胸及體軀は濶大充實し、尾は長からず充分開張し、脇羽及覆尾羽は能く彎曲す、脛は稍太く長さ適度なり

横斑プリマスロック

此種は灰白色にして各羽に鈍黒色の併行横斑あり、羽毛の重疊により藍色の光輝を帯ぶ、嘴及脛趾は黄色にして稍暗色を呈するを常とす

白色プリマスロック

此種は羽毛純白色にして嘴及脛趾は黄色なり

バフ色プリマスロック

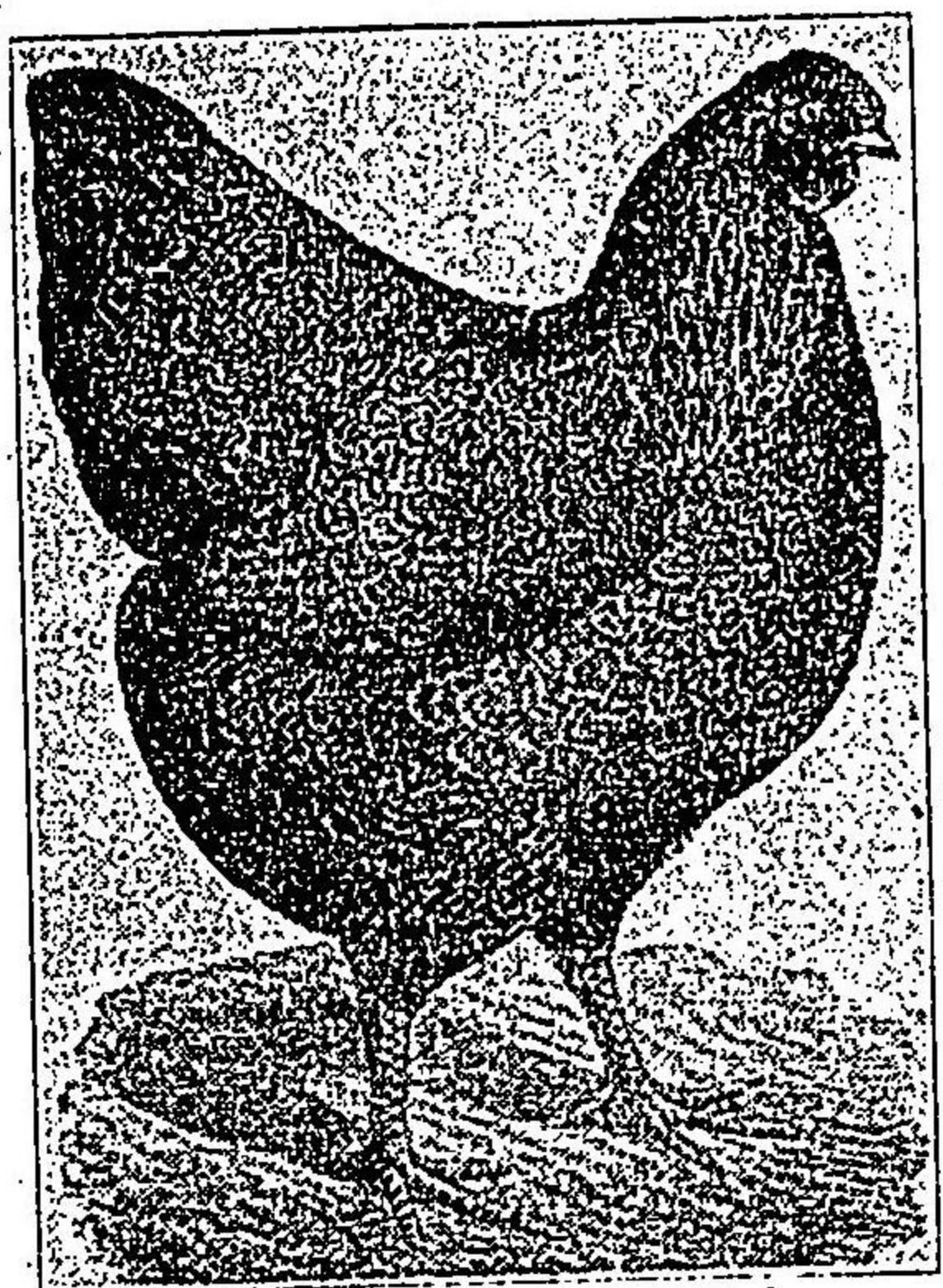
此種は羽毛一様にバフ色(帯紅黄色)なるをよしとするも多少の黒色を交ゆるを常とす、嘴及脛趾は黄色なり

三枚冠横斑プリマスロック

此種は冠の三枚冠なるはブラマ種に等しく色澤は單冠の横斑種に同じ

ワイアンドット種

本種は性質効用に於ては殆んどプリマスロック種と伯仲の間にあり、實用の上にて



トッドンアイワザリトーバ

は白色種を第一とす、銀色種及金色種は
雛時に於て稍虚弱なるを免かれずと雖ど
も外觀に於ては最も美なりとす
本種はプリマスロック種に似て體形稍短
かし、冠は低き蓄薇冠にして後穗尖鋭な
らず頭の形狀に従ひ低降す、耳朶は鮮紅
色にして嘴及脛趾は皆黄色なり

銀色ワイアンドット

此種は雄の頭背肩及覆翼羽は銀白色、頸羽及鞍羽は銀白色にして各羽に黒條あり、其

尾は黒色、雌の頭は銀白色、頸羽は銀白色にして各羽に黒條あり、尾は黒色、其他は
凡て銀白色にして各羽に黒色の覆輪あり

金色ワイアンドット

此種は銀色種に於ける銀白色の部分は金栗色にして餘は總て相同じ

白色ワイアンドット

此種は羽毛白色なり

パトリックワイアンドット

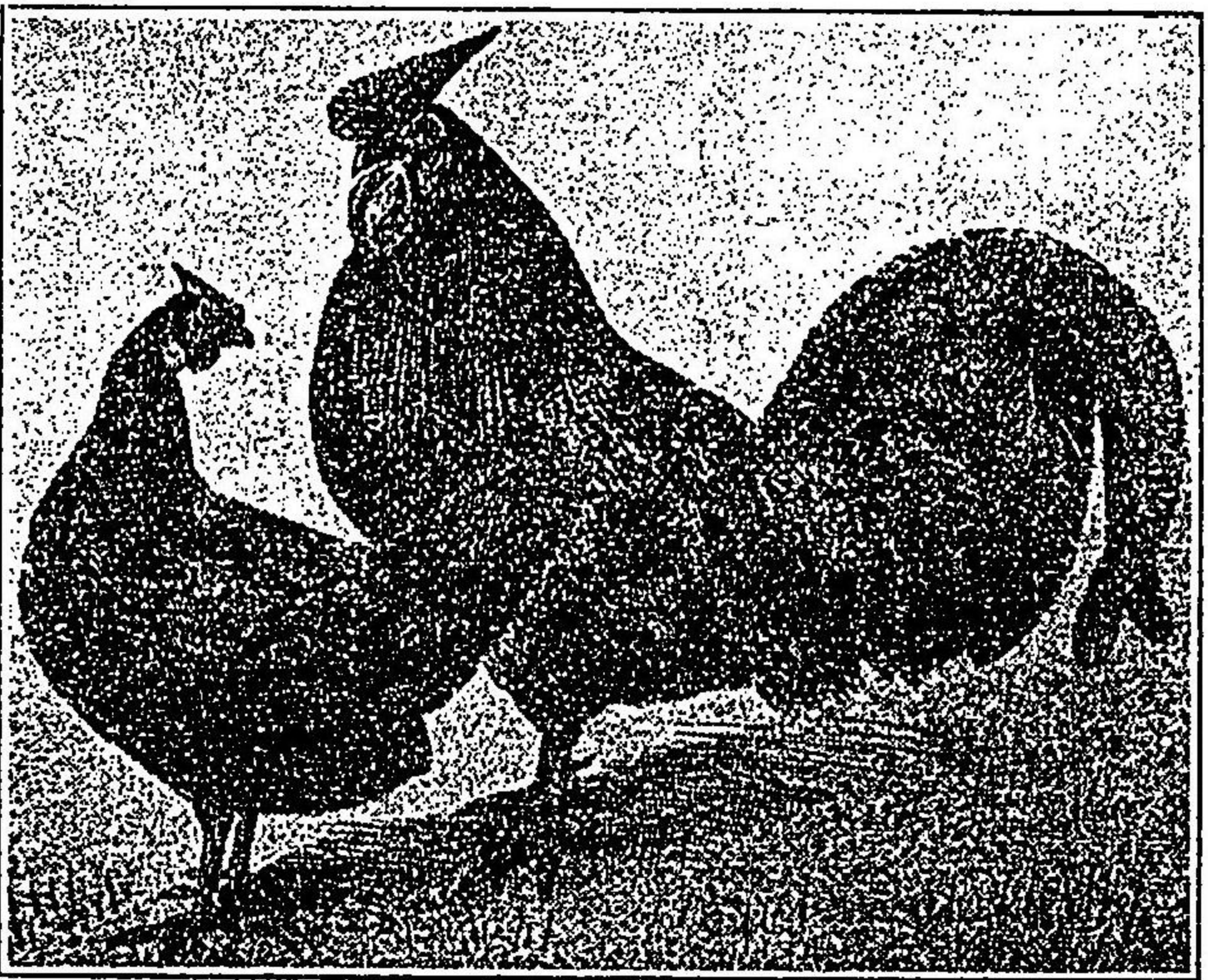
此種の羽色はパトリックデコイチンに同じ

コロンビヤンワイアンドット

此種の毛色は淡色ブラマに同じ

ハンバルグ種

本種は外觀優美にして愛翫に適し且つ産卵数の多きを以て名あり、其卵は白色にして



黒色ハンバルグ

本種は頭小にして蓄微冠なり、其冠は前部方形にして後部は尖穂状をなして稍向上し

十五六枚に過ぎずと雖も多産なるものは一年間能く二百五十顆を産し數年間産卵力の衰へざるは本種の特長となす、體質は稍虚弱なるも柵飼に適せざるに非ず、性輕俊にして蟄巢の念なし雌は幼時に於て孱弱なるも孵化後六ヶ月にして産卵を始む

本種は五種に分れ體驅の大小齊しからず、前三種は體形大差なし、銀色鷹斑種は稍小にして頗る美麗なり、而して金色鷹斑種に至りては最小にして最虚弱なり

頂面に無數の小突起あり其幅狭くして大ならざるを可とす、肉髯は圓く、耳朶は圓形若くは扁桃形にして白色なり、頸は上部細く頸羽は充分に肩に被り、脊は度に適ひ、胸は濶く凸出し、體驅は稍圓し、翼は大にして位置低く、尾は長大にして諺羽は長く彎曲し覆尾羽夥多なり、脛は細く、姿致娘娜たり

黒色ハンバルグ

此種は羽毛黒色にして鑛物性光輝あり、喙及脛趾は暗鉛藍色にして黒色に近し

銀色爛斑ハンバルグ

此種は又た銀色點斑種と稱す、頭は銀白色、其他の羽毛は銀白色にして各羽端に黒色の斑點あり、其翼面は併行二條の黒色横斑を顯はす、喙及脛趾は藍色若くは鉛藍色なり

金色爛斑ハンバルグ

此種は又た金色點斑種と名く、雄の尾は全部黒色、雌の尾は黒色にして頂上二主羽は

赤栗色、其他の羽毛は濃赤栗色にして其斑紋は銀色爛斑種に同じ、嘴は暗角色、脛趾は藍色若くは鉛藍色なり

銀色鷹斑ハンバルグ

此種は又た銀色條斑種と稱す、雄の尾は黒色にして諸羽及覆尾羽は白色の覆輪あり、他は表面總て銀白色なり、雌の頭及頸は銀白色、爾餘の各部は銀白色にして各羽に帶綠黑色の鷹斑(細横斑)あり、嘴は藍色若くは角色、脛趾は藍色若くは鉛藍色なり

金色鷹斑ハンバルグ

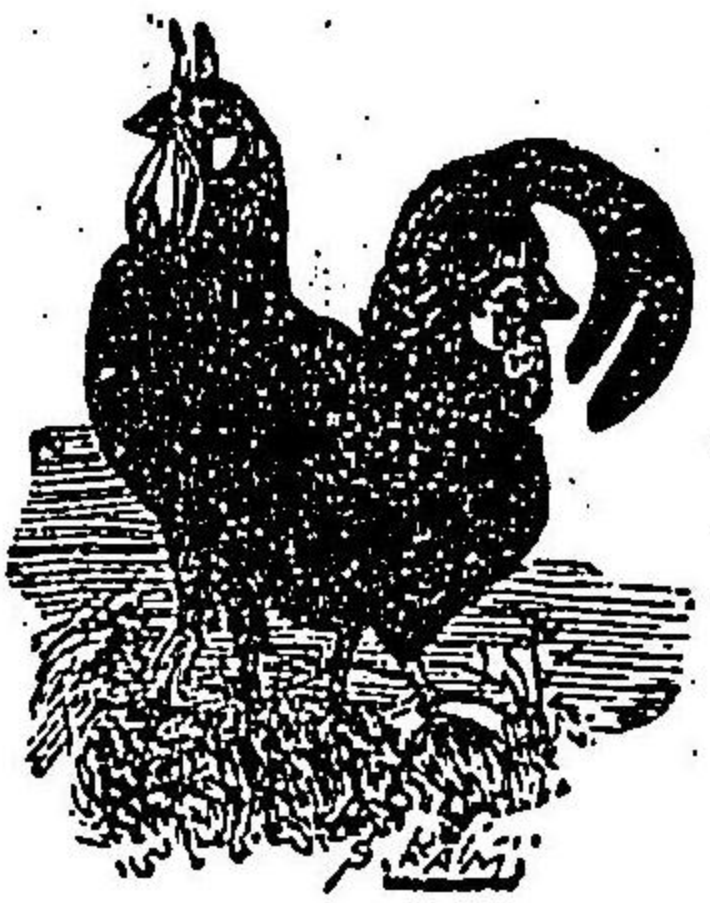
此種は又た金色條斑種と稱す、羽毛は赤栗色にして其斑紋と黒色の部分とは銀色鷹斑種に同じ、嘴及脛趾の色亦相同じ

ラ、フレッシユ種

本種は資性伶俐活潑にして蟄巢の念なし、肉質は佳良にして美味あり、卵は白色にして一年間百四十顆内外を産し一顆の重量十六七匁を下らず、數年間産卵力の衰へざる

は恰もハンバルグ種に於るが如し、雛は幼時に於て虚弱なるも孵化後六七ヶ月にして

産卵を始む



ユシツレフ、ラ

本種は體量雄一貫匁雌八百匁に達し、形状はミノルカ種に近似す、冠は二本の角形をなし、肉髯は長く、耳朶は大にして白色なり、羽毛は黒色にして光輝に富み、嘴及脛趾は黒色若くは鉛黒色なり

ウーダン種

本種は又たウーダンと呼ぶ、細骨多肉にして需肉用に適するのみならず産卵亦多く一年間能く百六七十顆を産し一顆の重量十七八匁に達す、性質温順にして蟄巢せず、體質強健にして柵飼に適す、雛は成長迅速にして孵化後六七ヶ月にして産卵す

本種は體量雄九百匁雌七百匁に達し、毛冠あり、又た鬚髯を有す、肉冠は二個の木葉形若くはV字形にして雌にありては極て小なり、頸は稍短く夥多の頸羽を被り、背は

廣く、胸は圓大にして體軀は充實す、尾は長大にして謠羽及覆尾羽は能く彎曲す、脛は長からず、趾は五個を有す、羽毛は黑白爛斑にして嘴は暗角色、脛趾は帯紅白色にして鉛黒色の汚點あり

ポーリツシ種

本種は愛翫を主とす、産卵数は少なからずと雖ども毛冠の發達せる優種にありては實用に適せず、性質は毛冠の爲めに陰鬱となり、體質は虛弱にして寒濕を怯る、雌は蟄巢の念なく雛も亦た孱弱なり

本種は體形ウーダン種に似て肥へず、肉冠はV字形にして小なるを可とす、毛冠は大にして整齊なるをよしとす、白毛冠種は無鬚の一種なるも他種は皆無鬚と有鬚との二種に分る、無鬚のものは圓形の肉髯あり、有鬚のものは肉髯小にして鬚髯の内に隠る

白毛冠黒色ポーリツシ 無鬚

此種は毛冠白色にして他は黒色なり、嘴及脛趾は黒色若くは石盤黒色なり

銀色ポーリツシ 有鬚 無鬚

此種は羽毛銀白色にして各羽に黒色の覆輪若くは斑點あり、嘴は暗角色、脛趾は藍色若くは石盤藍色なり

金色ポーリツシ 有鬚 無鬚

此種は羽毛金栗色にして其斑紋等は總て銀色種に同じ

ロード、アイランド、レッド種

本種は採卵需肉の兩途を兼ねる者にして一般に於てプリマスロック種に髣髴たり

本種はバフ色プリマスロックに酷似じ羽毛は赤栗色にして尾は黒色なり

スコッチグレー種

本種は採卵と需肉とを兼ねる者なり、卵は大にして十八匁を超ゆ

本種はプリマスロック種に似て體形稍長く冠稍大なり、其尾は長く謠羽は能く彎曲す、羽色は横斑プリマスロックに髣髴たり

ドーキング種

本種は需肉を主とす、肉味の佳良なるは其特長とす、産卵は多からず、雌は孱弱にして濕氣を厭ふこと太甚し

本種は體量雄一貫、雌八百、内外にして體形肥盈し、側面より見れば長方形をなせるは其特色となす、單冠と薔薇冠とに分る、尾は長大にして、諸羽及覆尾羽は能く彎曲し、脛は短く五趾を有せり

銀灰色ドーキング 單冠

此種の羽色は銀色ダックキングレグホーンに同じ、嘴は暗角色若くは白色、脛趾は白色若くは肉色なり

白色ドーキング 薔薇冠

此種は羽毛白色にして嘴及脛趾は白色若くは淡白色なり

ジャヴァ種

本種は體質強健にして産卵少からず、體驅充實し胸肉に富めり、性質溫順にして雌は孵化育雛に従事せしむべし

本種は體量雄一貫、雌二百、雌一貫、有し、體形はコーチン種とプリマスロック種との間にあり、尾は稍長く、冠は稍大なり

黒色ジャヴァ

此種は羽毛黒色にして嘴及脛趾は黒色若くは鈍黒色、蹠は黄色なり

バンナム種

本種に屬するものは愛翫を主とし體の小なるを貴重す

金色セブライトバンナム

此種の雄は羽毛の狀總て雌に均しく、諸羽なく雌雄其形狀を同ふす、冠は薔薇冠にして小羽毛は、金栗色にして各羽に黒色の覆輪あり

銀色セブライトバンナム

此種は羽毛の銀白色なる以外は全く前種に同じ

バフ色コーチンバンタム

此種は又たペキンバンタムと稱す、即ちバフ色コーチンの小なるものなり

此他各種のバンタムは皆な其本種に齊しくして形状小なるのみ

吐綬雞

吐綬雞は亦た七面鳥と稱す、肉味の佳良なるは其特質となす、産卵は多からざるも其味頗る美なり、又た種卵の孵化用として随時に熱巢せしめ母雞となすを得るの便あり

青銅色吐綬雞

此種は體量雄四貫匁雌三貫匁に達す、羽毛は大約青銅色にして光輝あり

バフ色吐綬雞

此種は體量雄三貫匁雌二貫匁に達す、羽毛はバフ色(淡肉桂色)なり

此種は大久保種禽場が得たる新輸入種なり

石盤色吐綬雞

黒色吐綬雞

此二種の羽色は其名の如し

日本種吐綬雞

此種は日本固有のものにして體量雄二貫匁雌一貫匁内外を常とす、馴養其度を進め性質極めて温順なり、其羽色は一定せず

珠雞

珠雞は又たホロホロ鳥と稱す、歐米に於てはギニアフォルと呼ぶ外觀奇なるを以て愛翫に適す、體は小なるも其肉は香味に富み雉子に似たり、卵は小にして十二匁内外に過ぎず、暖季に非れば産卵せず、其味最美なり、野生の状態を現存し性質亦た疎野なり

珠雞は雌雄同形にして吐綬雞に似たり、頭上に骨兜あり、顔面は紫白色を呈し、肉髯

は軟骨性にして小なる三角形をなし紅色なり、嘴は大にして褐色を呈し、脛趾は褪黄褐色なり、羽毛は鈍黒灰色にして全身に無数の白色の細球點あり、又た全身灰白色のものあり

鶖

青首鶖

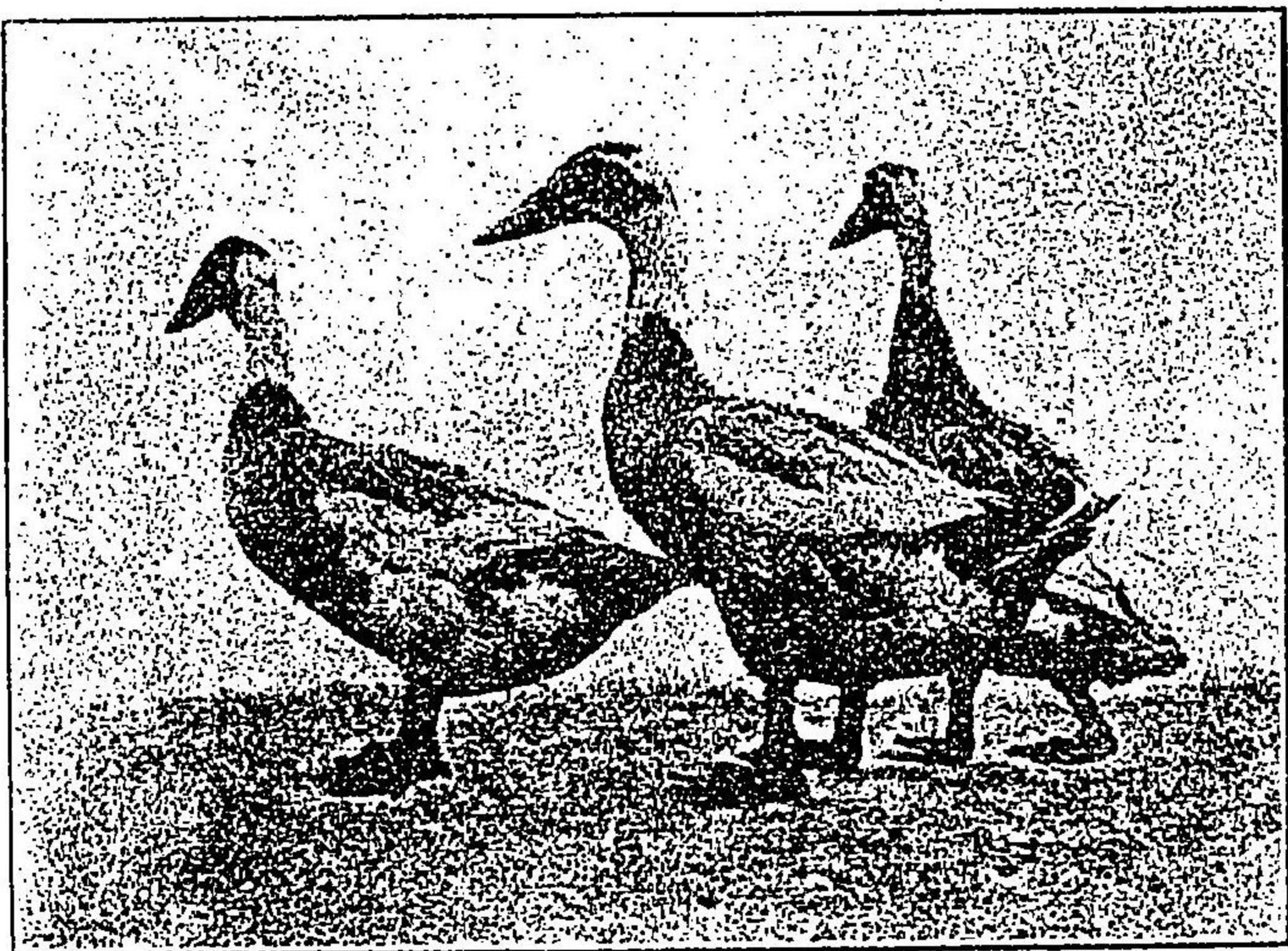
本種は日本固有の鶖にして歐米に於けるルーアン鶖と殆んど同一なり、人の皆を知る所なるを以て解説を加へず

鴨鶖(なきあひる)

本種は又た野鴨と稱す、羽色は野生の鴨に齊く體量は五百匁に過ぎず

北京鶖(ペキンダック)

本種は體量雄一貫匁雌九百匁に達す、羽毛は乳白色にして嘴は黄色、脛趾は橙紅色なり



鶖 ナン ラ

エイルスベリー鶖

本種は羽毛純白色にして嘴は褪肉色、脛趾は淡橙色なり

ランナー鶖

本種は又たインデアン、ランナーと稱す、體量は雄六百匁雌五百匁内外にして産卵數の多きを以て名あり、卵數は一年間百三十顆を超へ、一顆の重量二十匁内外にして七八歳に至るまで産卵力の衰へざるは本種の特徴となす、體形は稍細長にして脛稍長く、羽毛は麤色(淡褐色)の部分多のく白色部分少なし

マスコヅキ鶯

本種は體量雄一貫二百匁雌九百匁に達す、嘴根上部及び眼の周圍に赤色の肉疣あり、頭の後部に毛冠に似たる長さ羽毛あり、翼は大にして尾は長大なり、羽毛は黑白爛斑のものと全身白色のものと二種あり、前種の嘴は暗角色、脛趾は暗鉛色若くは黒色にして後種の嘴は帯紅白色、脛趾は橙色なり

鶯

支那鶯

本種は體量雄二貫匁雌一貫六七百匁に過ぎずと雖ども産卵の多きは鶯中の冠たり、其性爽快にして外觀雅致に富めり、嘴の根部に大なる瘤あり、白色褐色の二種に分る、白色種は羽毛白色にして嘴及脛趾は橙色なり、褐色種は羽毛褐色にして野雁の如く嘴は暗褐色若くは黒色、脛趾は暗橙色なり

エムデン鶯

本種は體量雄三貫匁雌二貫七八百匁を有し形狀は鶯に似たり、羽毛は純白にして嘴は肉色、脛趾は深橙色なり

ツールース鶯

本種は前種に比すれば體形稍短し、羽毛は灰褐色にして嘴は紅肉色、脛趾は濃紅橙色なり

明治四十一年二月十七日印刷
同年同月二十日發行

著作
發行者兼

東京府豊多摩郡大久保村大字西大久保
四百三番地

森川鍵藏

印刷者 黒田清之助

東京市牛込區市ヶ谷長延寺谷町一番地

印刷所 株式會社秀英舎第一工場

東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目十二番地

發行所 大久保種禽場

東京府豊多摩郡西大久保

258
4
306

- 當場は多數の雞類と小禽とを飼育す
- 當場は種禽種卵及圖書器具を販賣す
- 當場の得賞種禽は皆な當場に於て孵化
成育したるものなり、以て當場種禽の
優逸なるを證するに餘りあり
- 當場は明治二十九年に創立す

▲種禽定價表は御申込次第送呈
すべし

東京府豊多摩郡

西大久保(鬼王祠畔)

大久保種禽場

振替貯金口座五五貳壹番

